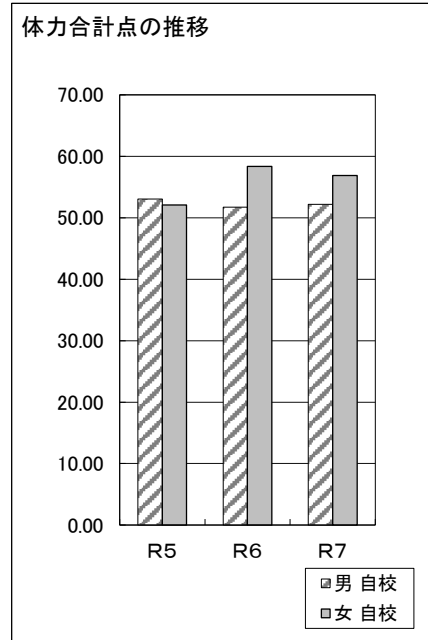
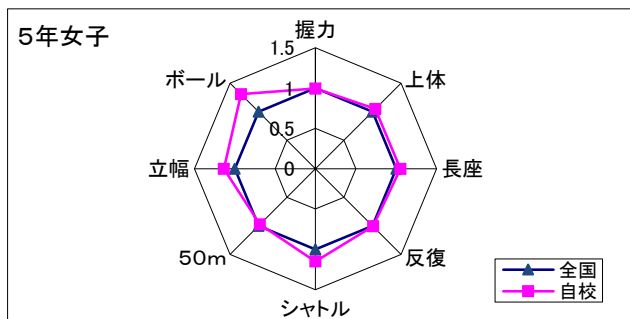
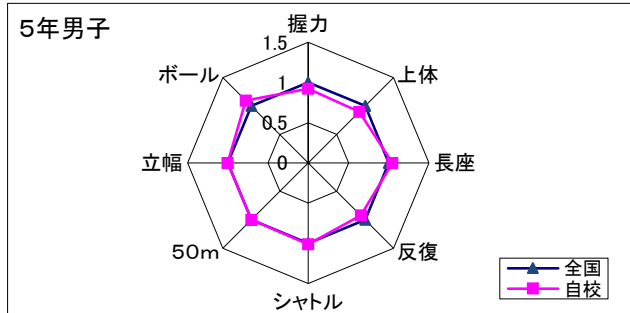


学校名	小28 波多見小学校
-----	------------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値							体力合計点			
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シヤトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
5年	男	全国	15.97	19.45	33.88	40.90	47.95	9.46	150.96	21.06	52.60	52.54	53.03
		自校	14.72	17.47	35.41	37.72	48.56	9.45	151.50	23.11	53.06	51.73	52.20
		比較	△	△	○	△	○	○	○	○	○	△	△
	女	全国	15.61	18.36	38.17	38.71	36.87	9.77	142.39	13.10	54.29	53.93	53.98
		自校	15.53	19.25	40.13	39.06	42.38	10.01	161.69	17.13	52.06	58.36	56.86
		比較	△	○	○	○	○	△	○	○	△	○	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	長座体前屈	握力
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年女子では全国平均値を下回ったものの、昨年度の記録よりも0.6秒以上伸びている学年が第2～6学年の計5学年中、男子が3学年（第3, 5, 6学年）、女子が2学年（第3, 4学年）あった。 ・年間を通して、体育授業の中で、ダッシュリレー、鬼ごっこなど楽しみながら必然的に走力を高める運動を行うようにする。 	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前と比較しても、男子が1学年（第4学年）、女子が2学年（第3, 4学年）が、全国平均値を下回ったものの、ほとんどの学年がコロナ前の全国平均値を上回った。 ・体育の授業の始めに、柔軟体操をしっかり行ったことが結果に繋がったと考えられる。 	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の平均値より、2kg以上記録が上昇している学年が男子2学年（第2, 6学年）、女子2学年（第4, 6学年）であった。 ・朝の会等での「ゲーバー運動」等の取組を行ったことや、休憩時間中のドッジボール等で遊ぶ児童が多いことが結果に繋がっていると考えられる。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合		朝食を毎日食べる児童の割合		1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合	
男子	全国 93.5 自校 94.1	男子	全国 82.5 自校 73.3	男子	全国 90.1 自校 75.0
女子	全国 85.8 自校 93.8	女子	全国 80.4 自校 85.7	女子	全国 82.8 自校 86.7
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女ともに、全国平均を上回った。 ・運動会、なわとび検定、持久走大会に目標を持たせて取り組ませたり、児童会を中心に全校遊びを実施したりしたことが結果につながったと考えられる。 		<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている児童の割合は、男子で全国平均を下回ったが、男女ともに、朝食を食べない日が多い児童や食べない児童は0%だった。保健指導などにおいて「朝食」の大切さを低学年から説いた。 		<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は全国平均を下回ったが、女子は上回った。 ・男子では1週間の運動時間が0分の児童も見られた。理由には、「運動が好きではないから」等の回答があった。 ・外遊びを奨励するとともに、体育の時間を中心に運動が楽しいと思えるような取組をさらに進めていく必要がある。 	